

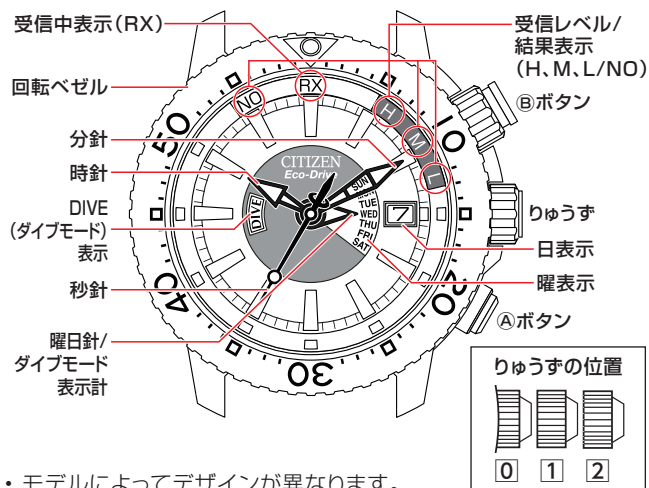
H112 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。



H112取扱説明書

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。
- スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページをご参照ください。

受信結果を確認する

- この時計は、標準電波を毎日午前2時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前4時に再度受信を試みます。

1. りゅうずの位置を①にする

2. Aボタンを押す

秒針が、受信結果 (「H」「M」「L」または「NO」) を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い状態で電波を受信中または受信したとき。
M	良い状態で電波を受信中または受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信中または受信したとき。
NO	受信に失敗したとき。 (手動で受信を行ってください)

- モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- 「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- 受信結果を表示して10秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。Aボタンを押すと、すぐに戻ります。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

電波を手動で受信する(強制受信)

- 電波を受信するときは、ダイブモード(DIVE)がOFFになっていることを確認してください。(「ダイビング終了後は」を参照)

1. りゅうずの位置を①にする

2. Aボタンを3秒間以上押し続ける

- 秒針が前回の受信結果 (「NO」、「H」、「M」、「L」) を指したあと、「RX」に移動して停止します。
- 受信に成功した場合: 修正された時刻を表示します。
- 受信に失敗した場合: 時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。
- 受信を中断したいときは、各針が高速で回り始めるまでAボタンを押し続けます。

時差機能を使う

時差を設定することで、時刻合わせをすることなく、他の地域の時刻を表示させることができます。

- 現在の表示時刻を基準に、±27時間の範囲(1時間単位)で時差を設定します。

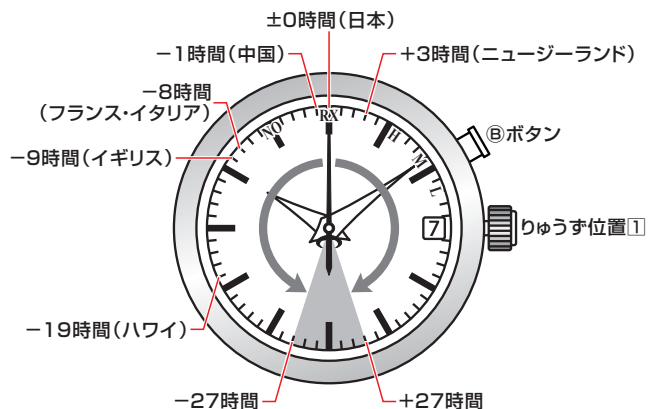
1. りゅうずの位置を①にする

秒針が年、月を指します。

2. Bボタンを押す

秒針が現在の時差設定を指します。

3. りゅうずを回して、時差を設定する



- 秒針が0秒を指しているときに、時差±0です。

4. りゅうずの位置を①にして、終了する

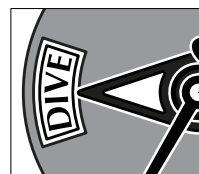
ダイブモードを使う

- 電波受信機能による針の停止を避けるために、ダイビングの際には必ずダイブモードをONにしてください。

1. りゅうずの位置を①にする

2. Bボタンを7秒間以上押し続ける

ダイブモード表示針がDIVEを指し、ダイブモードがONになります。



ダイビング終了後は

ダイビング終了後は、必ずダイブモードをOFFにしてください。

1. りゅうずの位置を①にする

2. Bボタンを7秒間以上押し続ける

ダイブモード表示針が現在の曜日を指せば、ダイブモードはOFFです。

カレンダーを手動で合わせる

- この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. リゅうずの位置を①にする

現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。

2. ④ボタンを押す

日表示が合わせられるようになります。

- ④ボタンを押すごとに、「日表示」→「曜」→「年、月」と修正対象が切り替わり、日表示、曜日針、秒針がそれぞれ動いて修正対象を示します。

3. リゅうずを回して、日表示を合わせる

4. ④ボタンを押す

曜が合わせられるようになります。

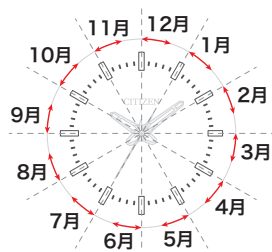
5. リゅうずを回して、曜を合わせる

6. ④ボタンを押す

年と月が合わせられるようになります。

7. リゅうずを回して、年と月を合わせる

- 月は、時刻の「時」の範囲で示されます。

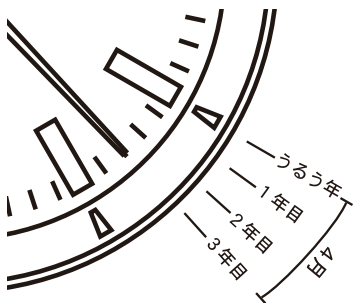


- 年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。
うるう年からの経過年数については、サポートページに詳しい解説があります。

(例)2015年4月に合わせるときは

4月→4時の範囲

2015年→うるう年から3年目



- リゅうずを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。
リゅうずを少し回すと止まります。

8. リゅうずの位置を②にする

現在の時刻に戻ります。

時刻を手動で合わせる

1. リゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指します。

2. リゅうずを回して、時刻を合わせる

時針、分針、秒針が動きます。

- リゅうずを素早く回転させると、各針が連続して動きます。
リゅうずを少し回すと止まります。
- 日表示と曜が切り替わったときが午前0時です。午前/午後を間違えないよう注意します。

3. 時報に合わせて、リゅうずの位置を③にする

すべての針が動きはじめます。

基準位置を確認する

1. リゅうずの位置を①にする

2. 秒針が高速で動き始めるまで、⑥ボタンを5秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。
(最大7分)

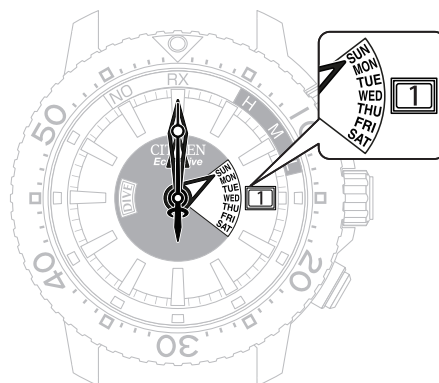
正しい基準位置:

- すべての針が12時位置、
- 日表示が「1」、
- 曜表示が「SUN」

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

3. リゅうずの位置を③にして、確認を終了する

時刻表示に戻ります。



基準位置を修正する

1. リゅうずの位置を①にする

2. 秒針が高速で動き始めるまで、⑥ボタンを5秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。
(最大7分)

3. リゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指し、基準位置が合わせられるようになります。

4. ④ボタンを押す

曜表示の基準位置が合わせられるようになります。

- ④ボタンを押すごとに、修正対象が「曜表示」→「針」→「日表示」と切り替わり、針/表示が少し動きます。

5. リゅうずを回して、各基準位置を合わせる

曜表示を「SUN」、時刻を「0時0分0秒」、日表示を「1」に合わせます。

- リゅうずを素早く回転させると、時針が連続して回転します。
リゅうずを少し回すと止まります。

6. リゅうずの位置を③にする

各針と日表示、曜表示が現在の時刻表示に戻ります。